

# 令和7年度 都城市立山田中学校「学校評価及び改善計画」

目標	令和7年度						令和6年度				現状分析	次年度に向けての改善策	学校運営協議会の意見	4段階評価
	評価項目	生徒評価	保護者評価	職員評価	総合評価	増減	生徒評価	保護者評価	職員評価	総合評価				
自分のよさや可能性を伸ばす	主体的な学び	3.4	3.2	2.9	3.1	±0	3.3	2.9	3.2	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主体的な授業・学びへの参加について、生徒と保護者の評価は比較的高いものの、職員の自己評価が最も低い。教師は生徒の主体性を伸ばす余地があると感じていると推測される。</li> <li>○ 生徒にあった教え方の工夫について、生徒の評価が最も高い一方で、職員の自己評価は低く、個別最適な学びの提供について、職員はまだ改善の余地があると感じている可能性がある。</li> <li>○ ICTを活用した分かりやすい授業について、生徒からの評価が非常に高く、ICT活用が生徒の理解に繋がっていることが示唆される。保護者の評価もある程度高い水準にあるが職員の自己評価は低く、まだ改善の余地があると感じている可能性がある。</li> <li>○ キャリア教育について、ほとんどの生徒が将来に向けて夢や希望を持っていると回答しており、学校でも職業講話や職場体験学習、福祉体験学習等のキャリア学習に取り組んでいる。</li> <li>○ 規則正しい生活について、生徒の評価が高評価だが、保護者は3.0を下回っており、家庭での規則正しい生活習慣の定着に課題があると考えられる。</li> <li>○ 部活動や体力の向上について、生徒の評価が最も高く、活動への意欲がうかがえる。一方、職員の評価が低く、約4割の職員が「あまりあてはまらない」と答えている。部活動指導において専門の職員が少なく、活動の質や参加状況に課題を感じている可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[改善目標]</li> <li>○ 職員の自己評価を上げ、生徒が家庭学習でICTを主体的に活用できるよう指導法を確立する。また、生徒指導と連携し、生徒の規則正しい生活習慣の定着を促すとともに、部活動や体力向上のための活動の質を高める。</li> <li>○ 授業研究の推進と公開授業の実施</li> <li>・ 生徒の主体的な活動と個別最適な学びをテーマとした研究授業を定期的実施し、職員間の相互評価と指導法の共有を行う。</li> <li>・ 特に対話的な学びや探究的な活動における生徒の関わり方、ふりかえりを評価する視点を取り入れる。</li> <li>○ 家庭学習におけるICT活用の定着支援</li> <li>・ 職員の低い評価を受け、ICTを活用した家庭学習の具体例（課題内容、提出方法、フィードバック、学習履歴の活用など）を共有し、実践する。</li> <li>・ 保護者に対し、ICT端末を活用した家庭学習の意義とサポート方法について、懇談会や通信等を利用して説明する。</li> <li>○ 「早寝・早起き・朝ご飯」の意識改革</li> <li>・ 保護者の評価が低いため、通信等で生活習慣と学力、体力の相関に関する情報を発信し、保護者と連携して取り組みを強化する。</li> <li>○ 部活動や体力向上の取り組みの見直し</li> <li>・ 職員の低い評価を踏まえ、部活動の目標や練習内容について顧問間で共有を図り、生徒の主体的・継続的な活動を促す指導法を確立する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相対的に職員の評価が低い。特にICTの活用等、家庭学習の充実について、職員評価と生徒、保護者の評価には開きがあり、改善策にあるような保護者に対し、ICT端末を活用した家庭学習の意義とサポート方法について、懇談会や通信等を活用して効果を上げることが期待します。</li> <li>○ 石川理紀之助翁らの功績を現代に置き換えると、石川理紀之助翁らが教師で、地域住民が生徒です。共に過ごした奇跡の6ヶ月における双方の関わり方を研究、又は話し合うことなどで、「主体的な学び」や「対話的な学び」のヒントを得られるのではないのでしょうか。</li> <li>○ 生徒の評価が高く、職員の評価が低い項目があり、それが課題ととらえるならば、両方で共有できる何らかの指標や目標が必要であると思う。ただ、個々の可能性を伸ばすことを考えると全体目標は掲げつつも個への働きかけは必要になってくると思う。生徒が自分の力を客観的にとらえるために、部活動等で交流はあるかと思うが、同年代との交流や専門的な知識や技能などに触れる機会を設けるなど意識を変えたいと思う。</li> <li>○ 自分の可能性に気付かないのではないのでしょうか。自ら工夫し意欲的に取り組もうとする姿がもう少し見られると嬉しいです。</li> <li>○ 少数ではあると思いますが、規則正しい生活習慣は学習にも影響すると思われる。学校と家庭生活を大切に過ごしてほしいと思う。</li> <li>○ 部活動では素晴らしい結果を残し、生徒の自信になっていると思うが、部活動に入部していない生徒は、放課後の過ごし方や休日の過ごし方を考えてほしいと思う。</li> <li>○ 全体的に生徒は学業に真面目に取り組んでいるようですが、個別には自分に足りないものは何か、何をどう勉強すればいいのかを具体的に示してほしいと思う。</li> </ul>	3.4
	分かりやすいように工夫	3.5	3.1	2.9			3.6	3.0	3.1					
	個別最適な学び	3.5	3.0	2.9			3.4	2.8	3.0					
	ICTの活用等 家庭学習の充実	3.2	3.0	2.5			3.4	2.8	2.6					
	キャリア教育	3.2	3.0	3.1			3.4	3.0	3.0					
	正しい姿勢（立腰）	3.1	2.9	3.0			3.0	2.8	3.1					
	規則正しい生活	3.4	2.9	2.9			3.4	3.0	2.8					
	体力の向上	3.6	3.4	2.7			3.3	3.1	2.5					
他者を尊重し協働する	積極的なあいさつ	3.7	3.3	3.2	3.4	±0	3.7	3.3	3.2	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>[改善目標]</li> <li>○ 高い心理的安全性を土台としつつ、生徒一人ひとりが健全な人間関係を築き、変化する社会に対応できる能力を育むことに重点を置く。</li> <li>○ 良い習慣の定着と質の向上</li> <li>・ 「相手の目を見て、気持ちを込めたあいさつ」など、質の高さを意識した目標を設定し、生徒会活動などを中心に取組を実施する。</li> <li>○ 情報モラル教育の家庭連携の強化</li> <li>・ 保護者と生徒がいっしょに、メディア使用に関する危険性や家庭内でのメディア使用ルール作りを促すための話し合う機会を設ける。</li> <li>○ 人間関係のトラブル解消と心理的安全性の維持</li> <li>・ 道徳や特別活動の時間において、自分の意見や相手を尊重しつつ適切に伝えることのスキルを学び、健全な人間関係構築能力を養う。</li> <li>・ 職員による定期的な教育相談を実施し、生徒が抱える潜在的なトラブルや不安を早期に把握できる仕組みを強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人権・同和教育では、保護者評価が僅かに高いが、改善策として情報モラル教育の家庭連携の強化が挙げられている。全国では、いじめによる被害を後を絶たないことも現実である。他者を尊重する事の重要性を個々の生徒に理解・教える工夫を続けなければいけないと思う。改善策として挙げている情報モラル教育について家庭との連携を進めることを期待する。</li> <li>○ ICTやAIを使いこなすことは、現代を生き抜く必要なスキルだからこそ、情報モラルやメディア使用上のルールを継続的に指導することは勿論、より人間力を高めるための道徳教育が必要になると思います。</li> <li>○ 体育大会を見せていただいたが、生徒が生き生きと力を解放し、楽しむ姿が見られた。主体性を感じると同時に責任感や協働の雰囲気も感じられ、素晴らしいと感じた。</li> <li>○ あいさつは校内や団体の時は良くできていると思うが、学校外での地域の人へのあいさつがもう少しあると思う。</li> <li>○ 学校行事や生徒会活動はとても充実しており、素晴らしい活動をしていると思う。</li> <li>○ 生徒会活動として、秋田県潟上市との交流をオンライン等も利用して、機会を増やしていけたらと思います。</li> </ul>	3.6	
	正しい言葉遣い	3.5	3.2	3.3			3.6	3.2	3.4					
	社会並びにデジタル使用上のルールやモラル	3.6	3.0	3.4			3.7	3.0	3.5					
	人権・道徳教育	3.6	3.2	3.3			3.6	3.1	3.4					
	学校の行事や生徒会活動の充実	3.7	3.5	3.4			3.7	3.5	3.4					
	心理的安全性	3.8	3.5	3.4			-	-	-					
地域や社会を切り拓く	地域と関わる活動	3.1	3.0	3.0	3.2	±0	2.9	2.8	2.6	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>[改善目標]</li> <li>○ 生徒の地域社会への関心と参画意欲を高め、地域に根差したキャリア教育を推進する。</li> <li>○ 地域学習やボランティア活動の実施</li> <li>・ 地域（山田町）の歴史や産業、福祉、環境問題などをテーマにした学習を総合的な学習で実施する。</li> <li>・ 総合的な学習や生徒会行事等を通じて、地域ボランティア活動への参加を促し、生徒が地域社会の一員としての意識を持つ機会を創出できるようにする。</li> <li>○ 地域人材を活用したキャリア教育</li> <li>・ 地域の企業や専門家をゲストティーチャーとして招き、生徒の将来への夢や希望を具体的に描けるような講演会やワークショップ等を実施する。</li> <li>○ 地域への学校行事への参加依頼</li> <li>・ 来年度も開かれた学校づくりとして、各種学校行事等に保護者や地域の方々への参加・見学を呼びかけていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合評価は昨年同様になっているが、秋田県潟上市訪問の影響もあり、12月には生徒の自主的な「地域ボランティア活動」として、けねじゅ苑、山田りんどう福祉会、社会福祉施設、山田運動公園・野球場、谷頭駅、万ヶ塚駅、あさぎり園、アシストドリビング霧島、石川理紀之助像の清掃や奉仕活動等が行われた。過去において山田中学校で実施されなかった規模のボランティア活動が行われ、素晴らしい取組だった。これは、学校と地域とがWINWINの関係になって良かったと思うので、これからも継続してほしいです。</li> <li>○ 石川理紀之助交流事業が10年経過しました。潟上市との派遣交流での気つきも大切ですが、石川理紀之助翁らが去った後、山田の先人たちが引き続き努力を重ねられた原動力は何だったのかを掘り下げて研究、又は話し合うことなども、一つの事業活動になり、郷土愛が育まれるのではないのでしょうか。</li> <li>○ 具体的な地域貢献の場が設定され、素晴らしいと感じた。活動後の地域の声を拾って返せると今後の主体的な活動への力になると思う。</li> <li>○ 広報活動については、地域の皆さんにも学校のことを知ってもらうためにホームページだけでなく、まち協が発行している通信等も利用してほしいです。</li> </ul>	3.4	
	ボランティア活動等	3.0	3.0	3.1			3.0	2.7	3.0					
	家庭・地域への情報発信		3.2	3.7				3.3	3.7					
	開かれた学校づくり		3.5	3.6				3.5	3.7					
	P T A 活動の充実		3.1	3.5				3.3	3.7					